

表—18 住民反応の実状土地利用による差の検定結果

[illegible]

*** 危険率 1 % で「商・工業主体地区」が「住宅主体地区」より反応が高い。

5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

種別	割合	説明
＊	10%	反店が低い
○	〃	〃
	〃	〃
	〃	〃

註1. サンプル数は項目により若干異なる。表中数値はQ3についてのサンプル数である。反応が低い。

表-19 各種基準（住居地域）から求めた最大許容騒音のLeq

(日本における騒音に係る各種基準について、それぞれ仮定を設けて、一日に許容される騒音量を L_{eq} に焼き直した表である。

対象	種類	表示量	住宅地域における基準値	Leq24	Ldn*	仮定
工場騒音	規制基準	変動騒音の場合 L _s 、間欠騒音の場合 最大値の平均	日中 朝夕 夜間 50 — 45 — 40 60 — 50 — 50 dB(A)	47.5 57.1	49.9 59.3	日中 8:00～19:00 朝夕 6:00～8:00 夜間 19:00～22:00 22:00～6:00 とし、定常騒音の場合の計算値